

公園標準構造図

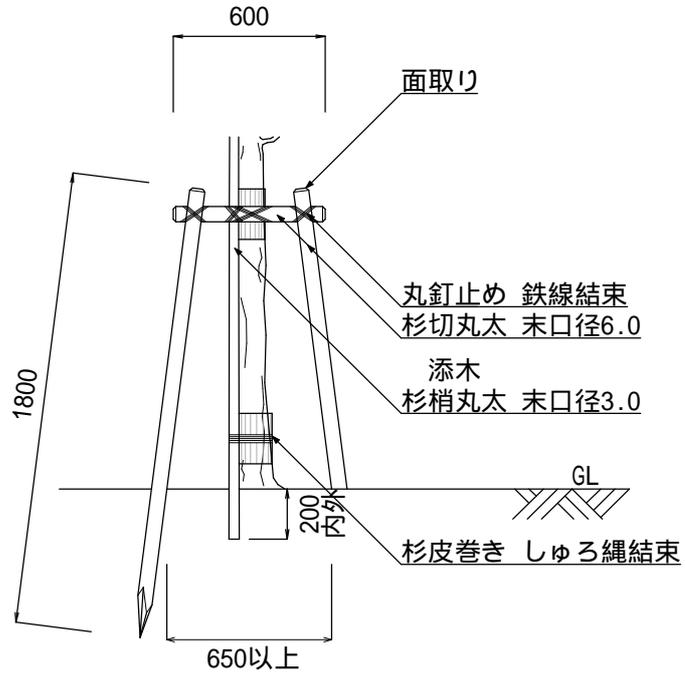
相模原市環境経済局環境共生部

目 次

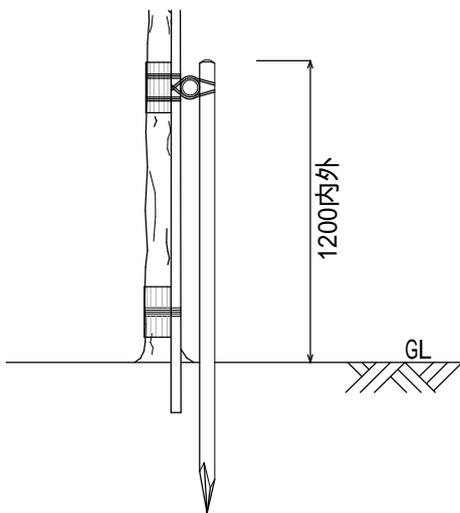
植栽工	二脚鳥居支柱（添木付・なし）	1
	三脚鳥居支柱	2
	十字鳥居支柱	3
	八ツ掛支柱（竹）	4
	八ツ掛支柱（丸太）	5
	布掛支柱	6
	添柱形支柱	7
	生垣形支柱	8
	張芝	9
雨水排水設備工	現場打側溝（横断部）	10
	浸透柵	11
	浸透管	12
園路広場整備工	透水性ブロック舗装（車道部・歩道部）	13
	公園コンクリート舗装（車道部・歩道部）	14
	砂舗装	15
	地先ブロック	16
	公園ブロック	17
遊戯施設整備工	砂場	18
サービス施設整備工	ベンチ（背なし）	19
	ベンチ（背付き）	20
	制札板	21
管理施設整備工	フェンス（単独基礎・連続基礎）	22
	車止め（可動式・固定式）	23
	園名板（園名板・園名柱）	24
	園内灯	25

添木付・なし

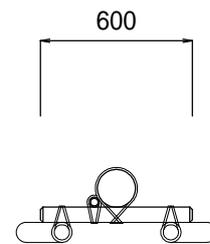
正面図



側面図



平面図



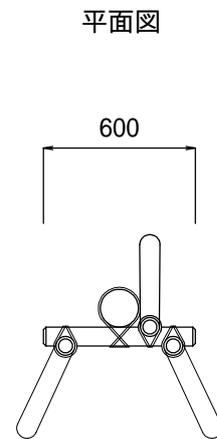
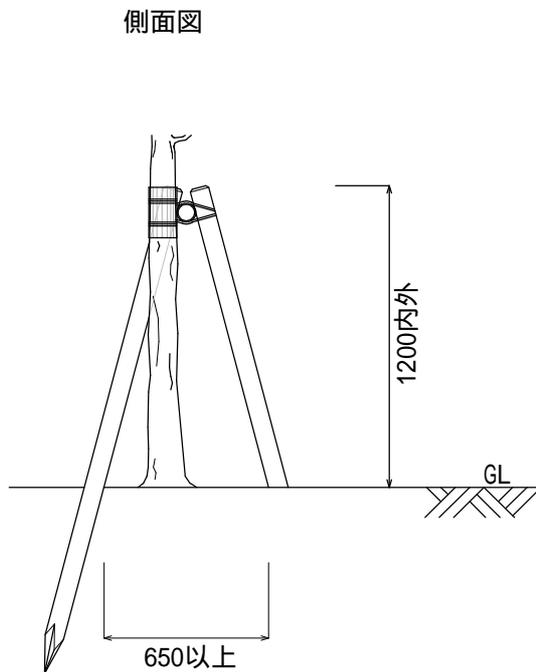
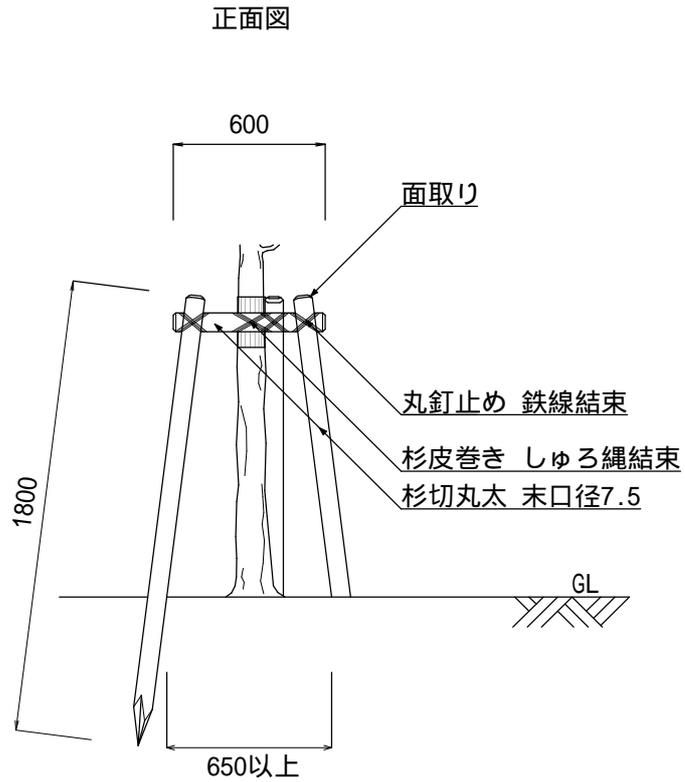
構造物・縮尺

二脚鳥居支柱
(添木付・なし)

S=1:30

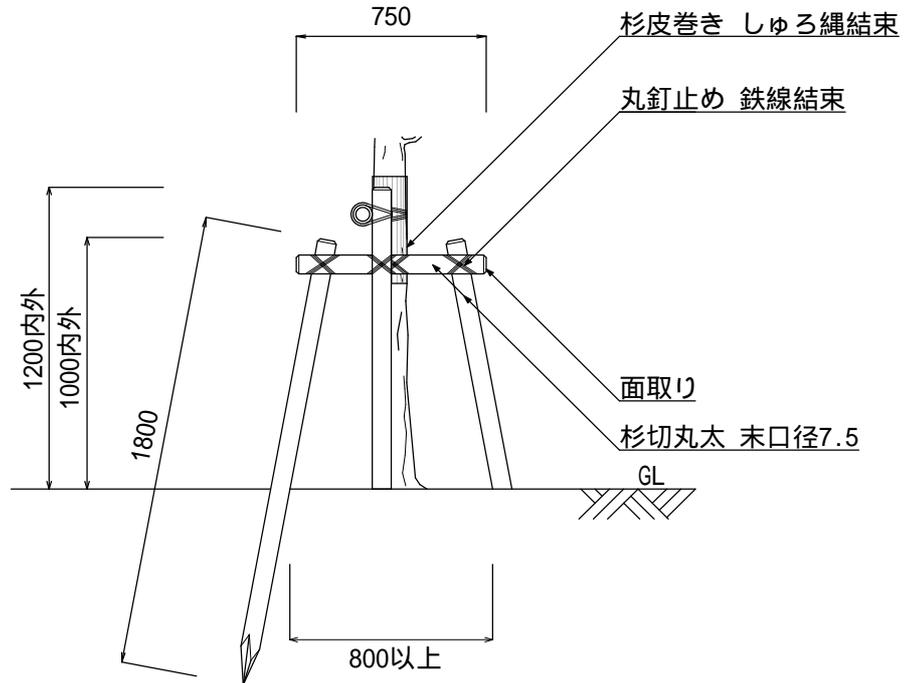
仕様

- ・ 杉切(梢)丸太については、加圧注入防腐処理品を標準とする。
- ・ 結束箇所は、綾割掛けとし、2本寄3度掛を標準とする。
- ・ 鉄線は、亜鉛メッキ鉄線 # 18以上の太さを有するものとし、結び目を結束部下部へ廻すこと。
- ・ 添木を設置する場合は、樹幹に3ヶ所以上結束する。

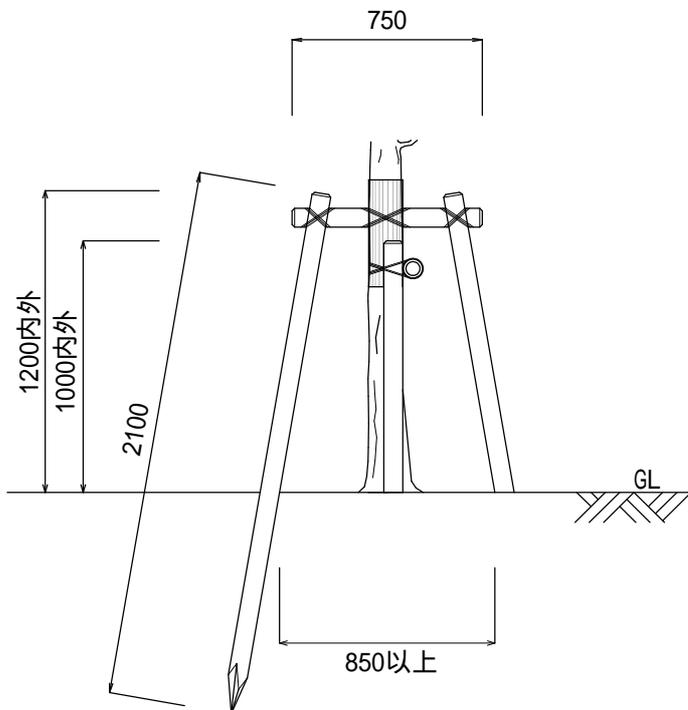


構造物・縮尺	三脚鳥居支柱	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・杉切丸太については、加圧注入防腐処理品を標準とする。 ・結束箇所は、綾割掛けとし、2本寄3度掛を標準とする。 ・鉄線は、亜鉛メッキ鉄線#18以上の太さを有するものとし、結び目を結束部下部へ廻すこと。
	S=1:30		

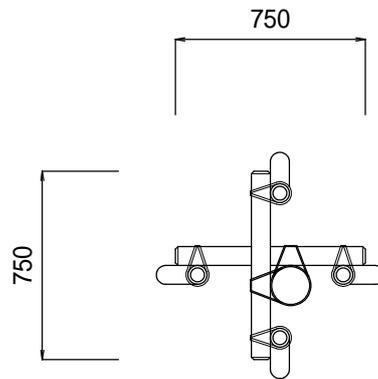
正面図



側面図



平面図



構造物・縮尺

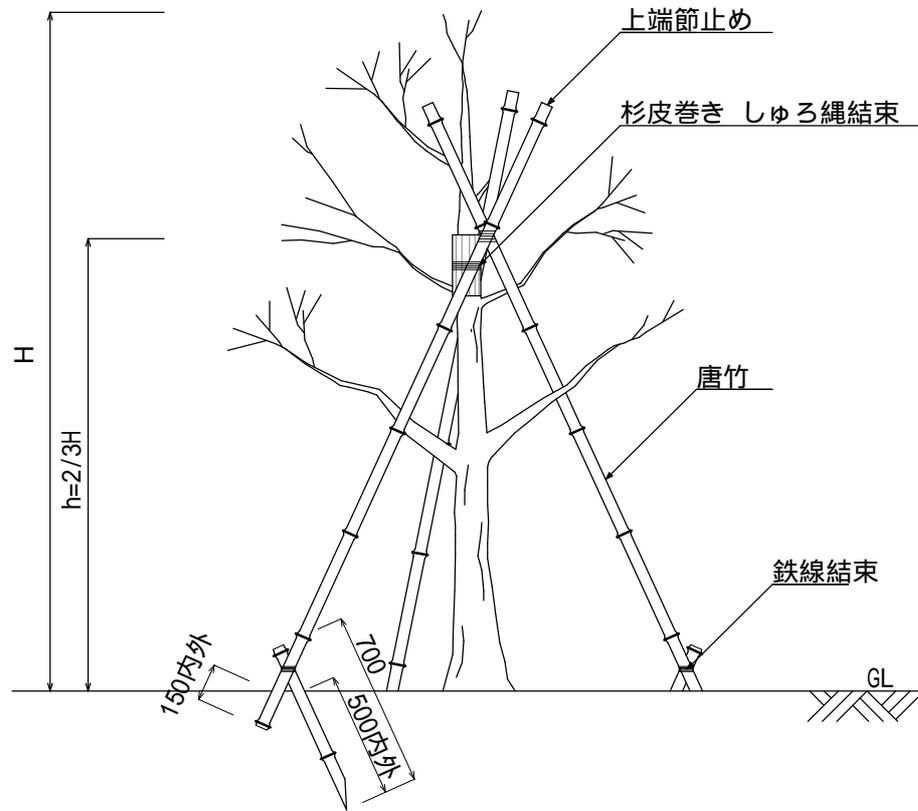
十字鳥居支柱

S=1:30

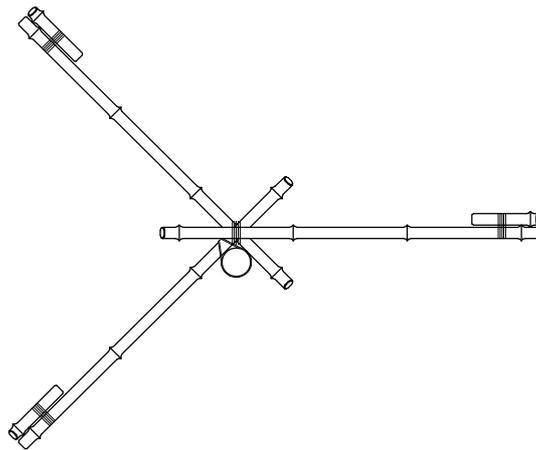
仕様

- ・杉切丸太については、加圧注入防腐処理品を標準とする。
- ・結束箇所は、綾割掛けとし、2本寄3度掛を標準とする。
- ・鉄線は、亜鉛メッキ鉄線#18以上の太さを有するものとし、結び目を結束部下部へ廻すこと。

正面図

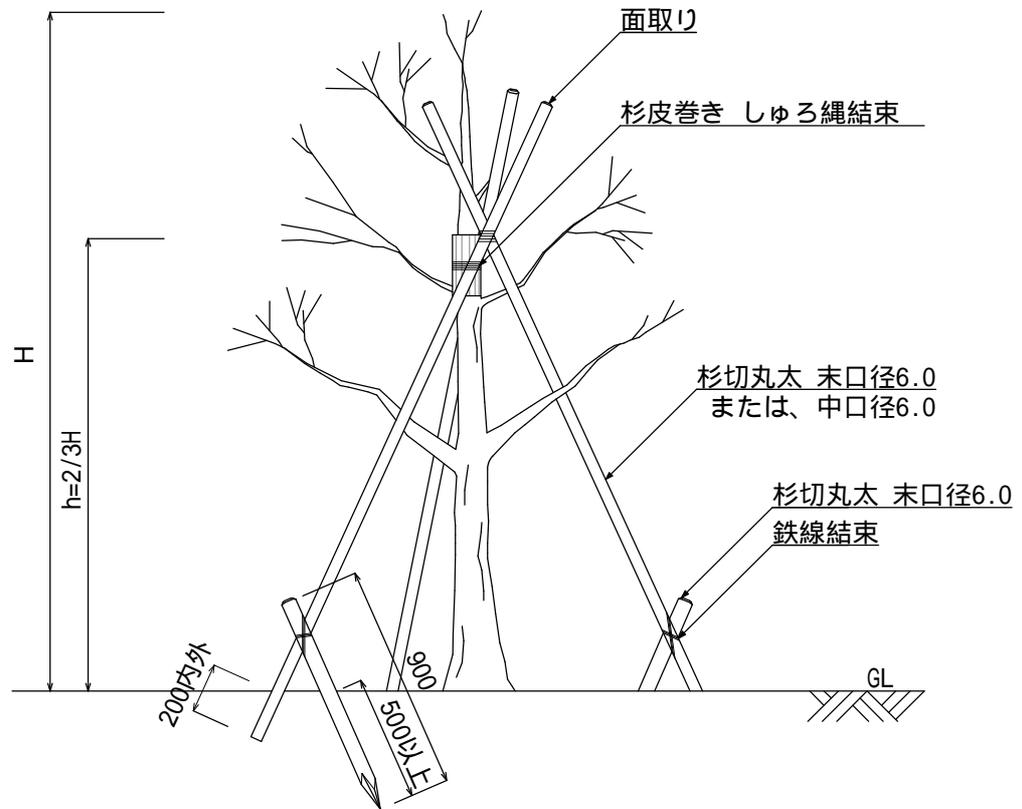


平面図

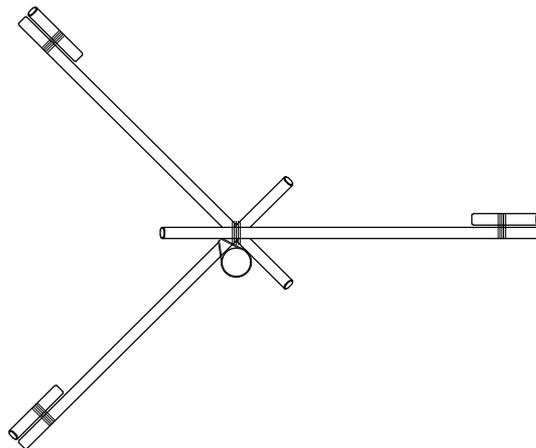


構造物・縮尺	ハツ掛支柱 (竹)	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・唐竹は末口25mmとする。 ・結束箇所は、綾割掛けとし、2本寄3度掛及び杉皮巻きを標準とする。 ・鉄線は、亜鉛メッキ鉄線#18以上の太さを有するものとし、結び目を結束部下部へ廻すこと。
	S=1:30		

正面図

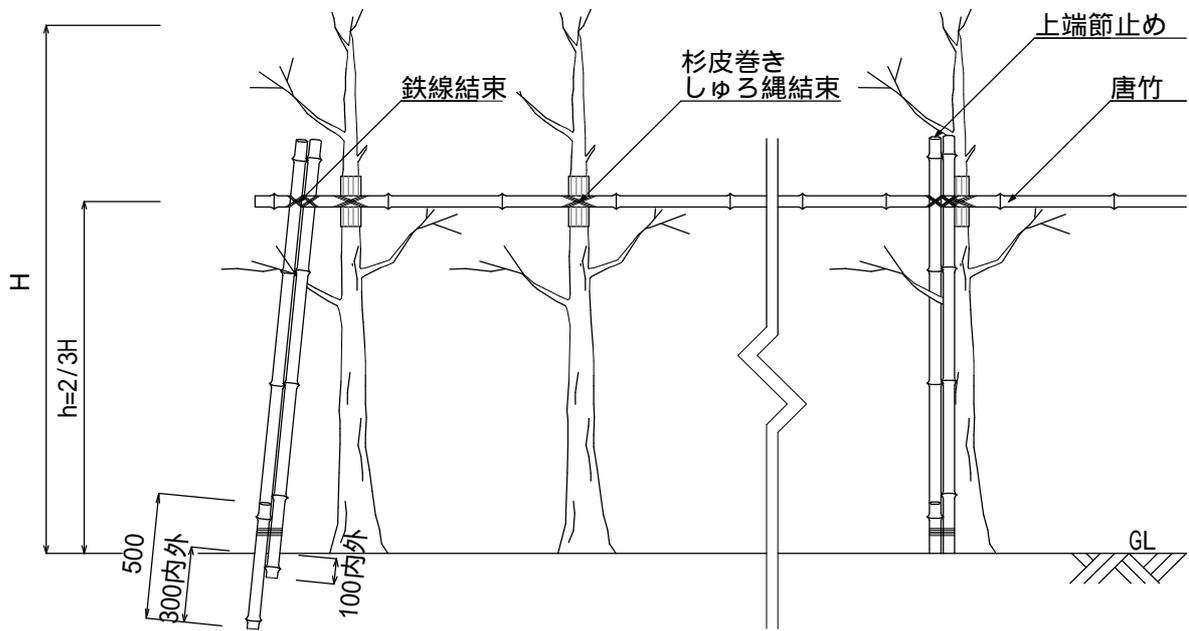


平面図

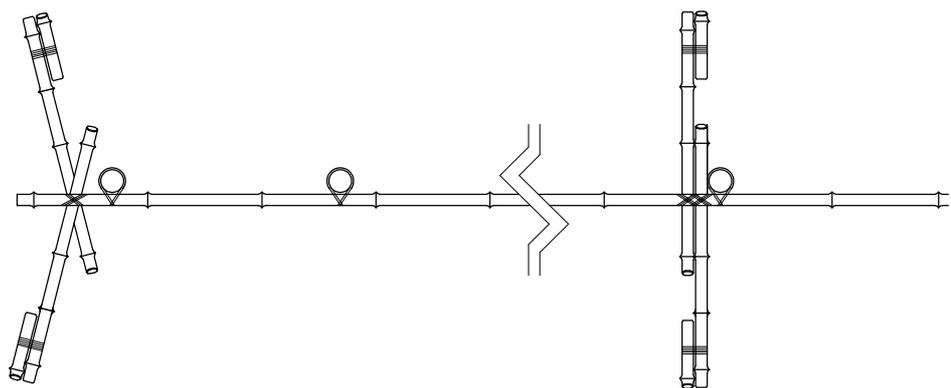


構造物・縮尺	ハツ掛支柱 (丸太)	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・杉切丸太については、加圧注入防腐処理品を標準とする。 ・結束箇所は、綾割掛けとし、2本寄3度掛及び杉皮巻きを標準とする。 ・鉄線は、亜鉛メッキ鉄線 # 18以上の太さを有するものとし、結び目を結束部下部へ廻すこと。
	S=1:30		

正面図

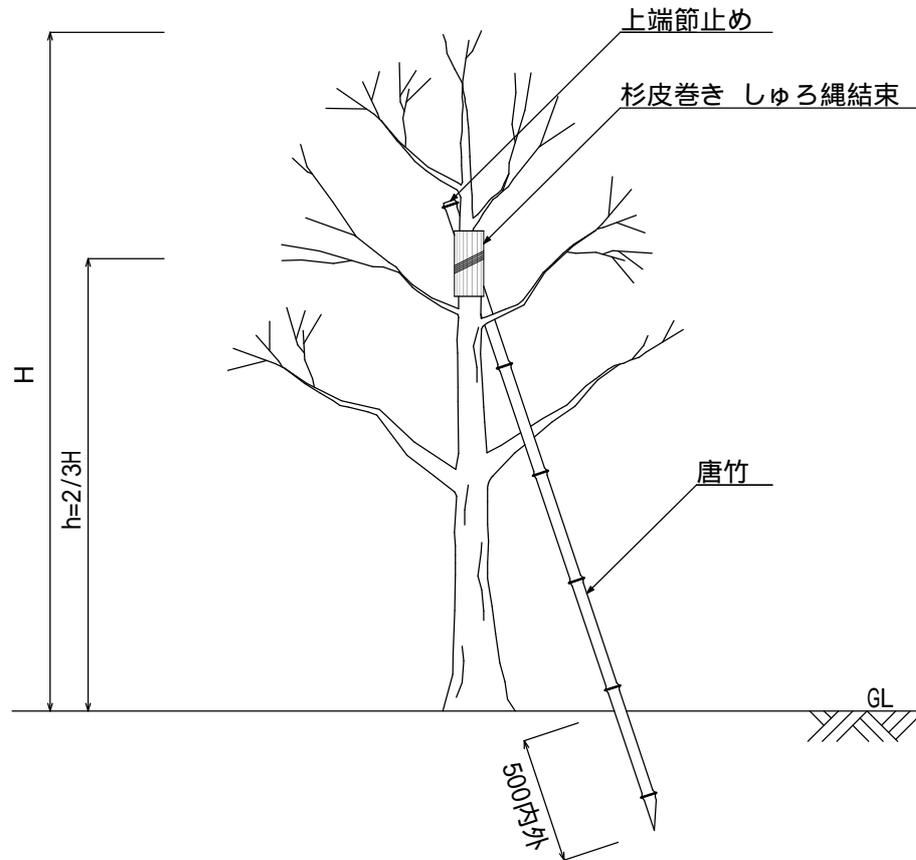


平面図

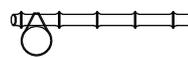


構造物・縮尺	布掛支柱	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・唐竹は末口25mmとする。 ・結束箇所は、綾割掛けとし、2本寄3度掛及び杉皮巻きを標準とする。 ・鉄線は、亜鉛メッキ鉄線#18以上の太さを有するものとし、結び目を結束部下部へ廻すこと。
	S=1:30		

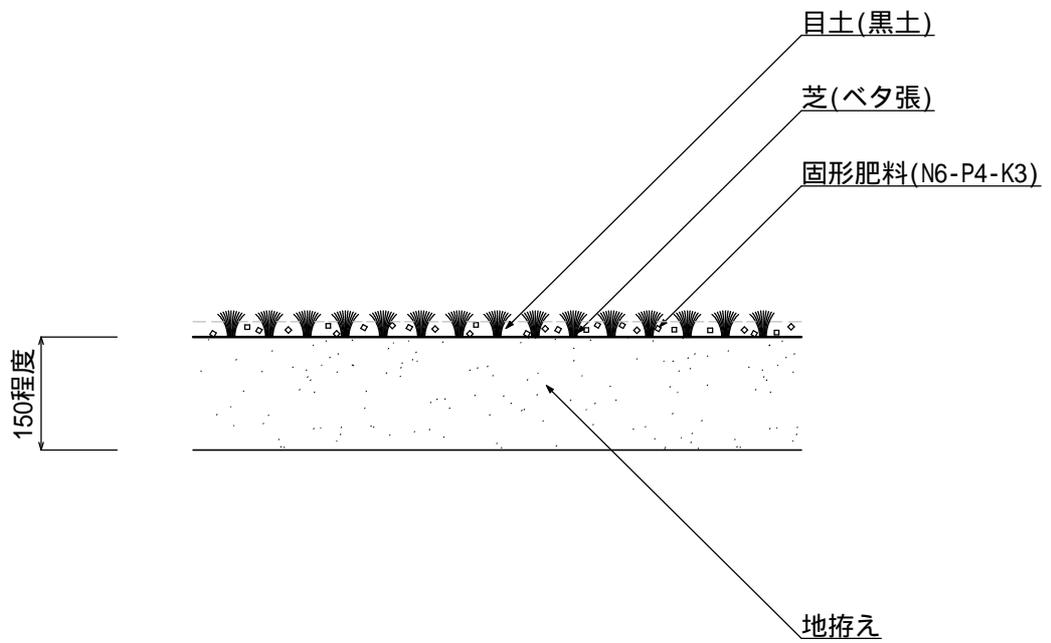
正面図



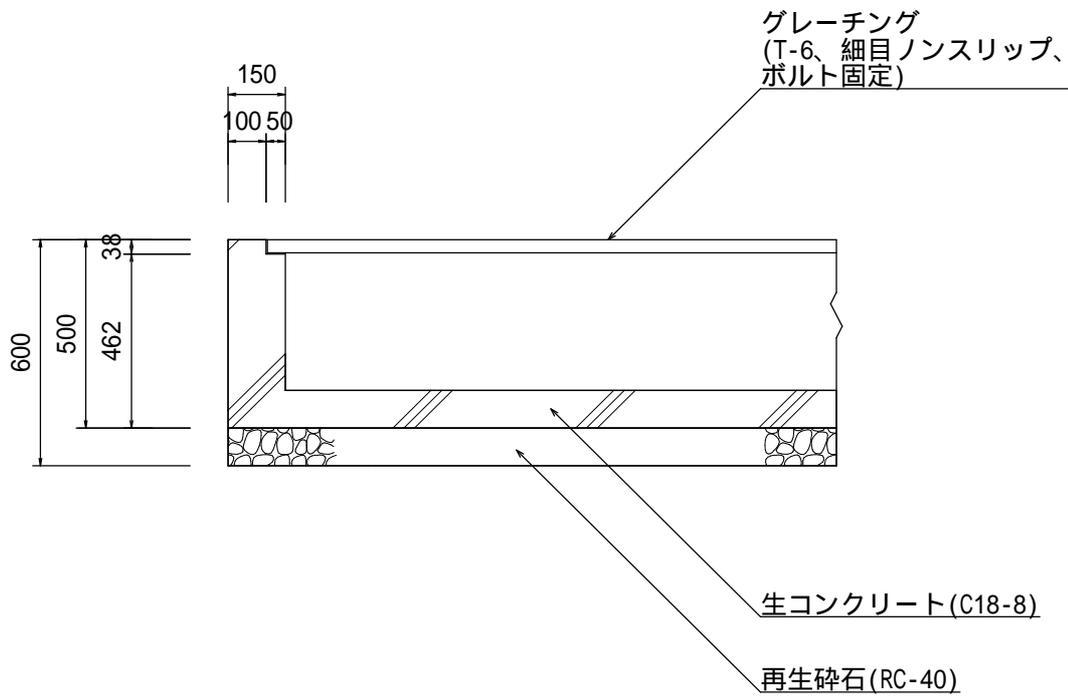
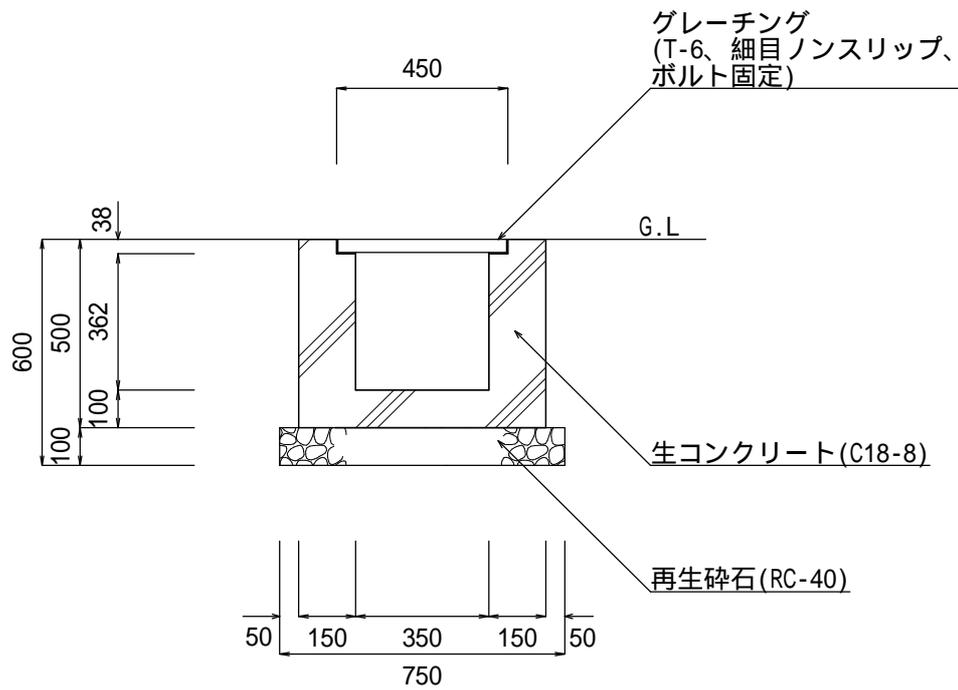
平面図



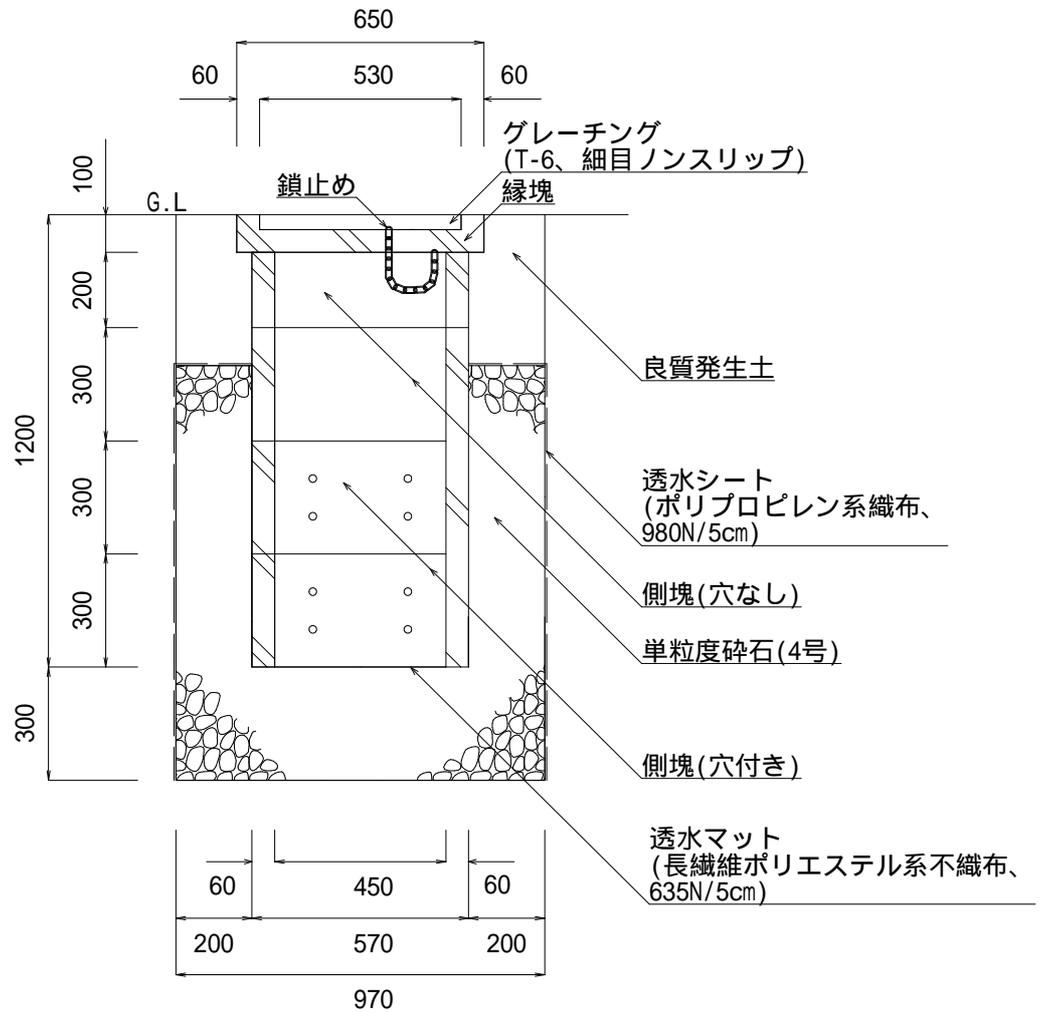
構造物・縮尺	添柱形支柱	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・唐竹は末口25mmとする。 ・結束箇所は、綾割掛けとし、2本寄3度掛及び杉皮巻きを標準とする。 ・鉄線は、亜鉛メッキ鉄線#18以上の太さを有するものとし、結び目を結束部下部へ廻すこと。
	S=1:30		



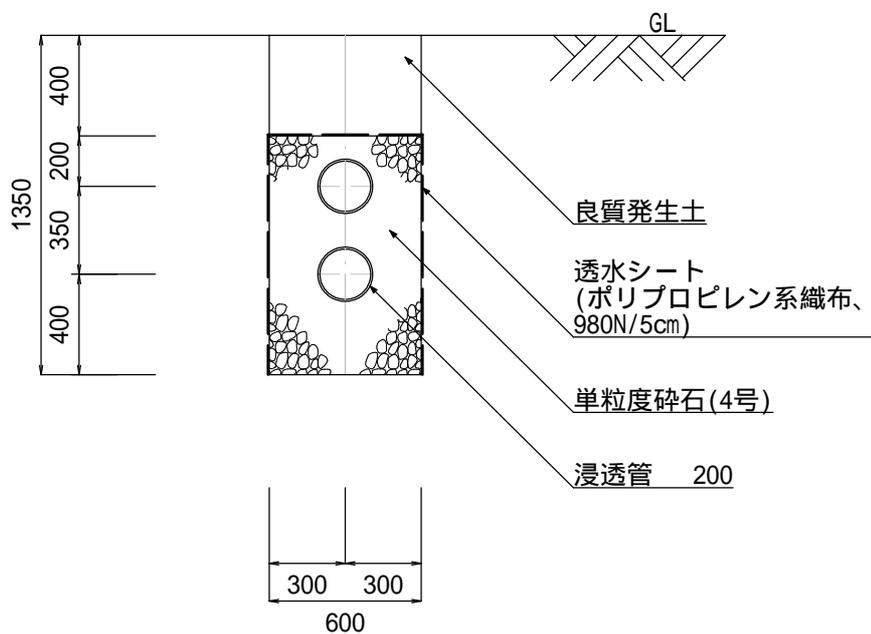
構造物・縮尺	張 芝	仕 様	<ul style="list-style-type: none"> 芝生の種類は特記とする。 目土は $2.7\text{m}^3 / 100\text{m}^2$ を標準とする。 固形肥料は $6\text{kg} / 100\text{m}^2$ を標準とする。
	S=1:10		



構造物・縮尺	現場打側溝 (横断部)	仕 様	・グレーチングは、縦断部に使用する場合は特記とする。
	S=1:20		

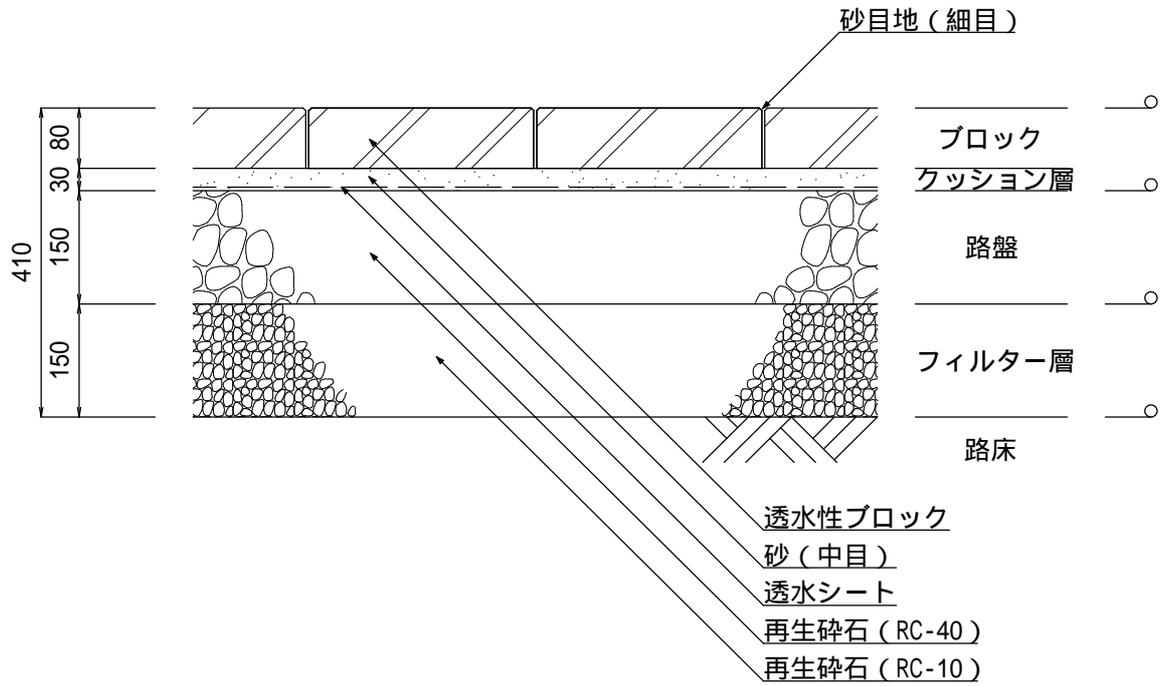


構造物・縮尺	浸透枡	仕 様
	S=1:20	

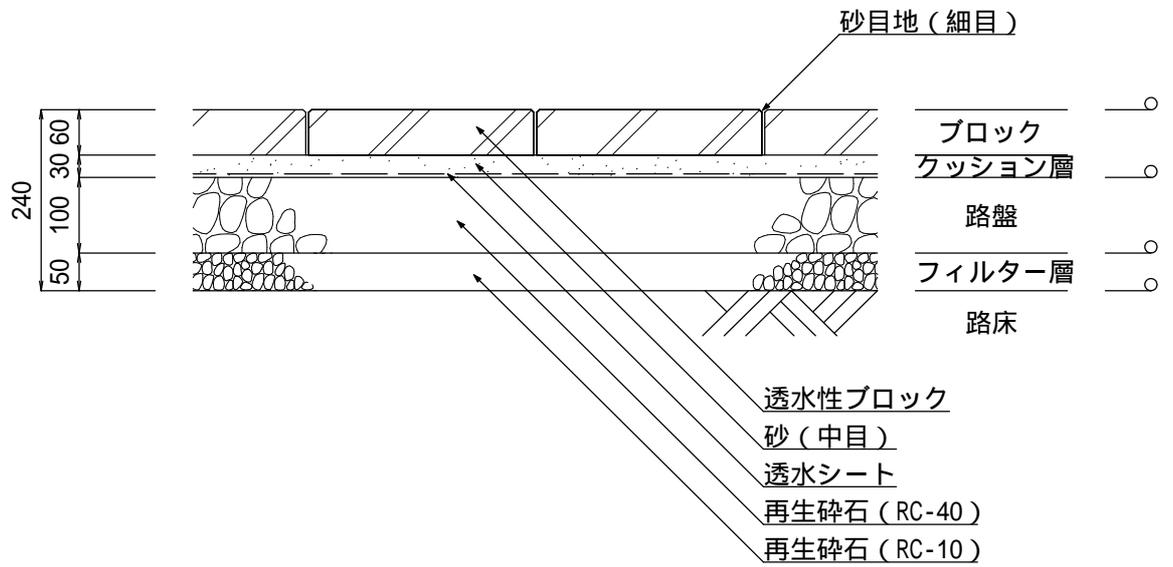


構造物・縮尺	浸透管	仕様	・ 浸透管の種類は特記とする。
	S=1:30		

車道部



歩道部



構造物・縮尺

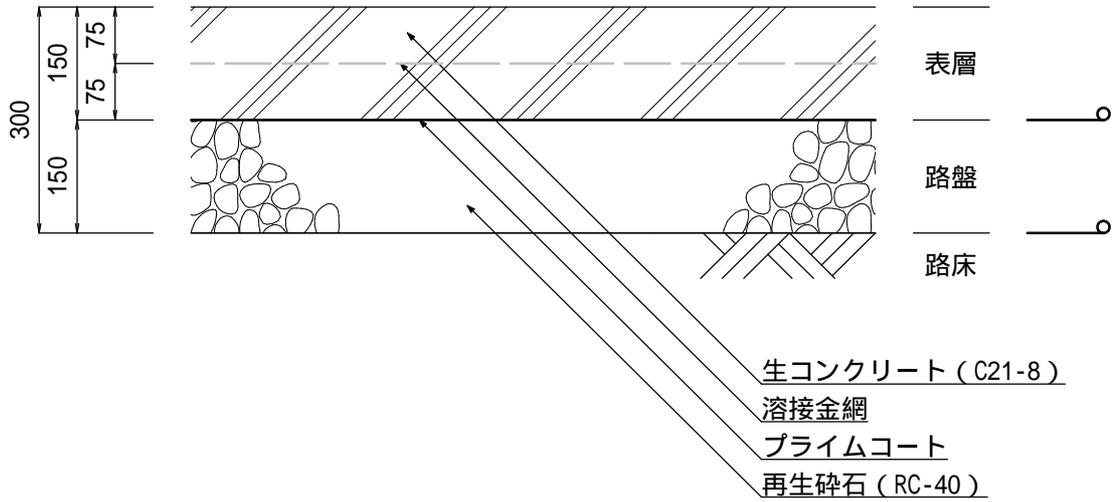
透水性ブロック舗装
(車道部・歩道部)

S=1:10

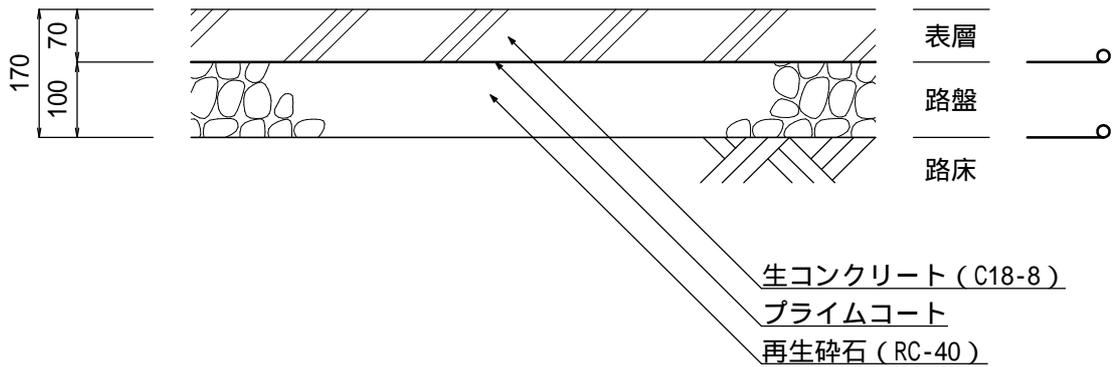
仕様

- ・インターロッキングブロック及び平板ブロックの適用とする。
- ・ ○はローラー転圧を標準とする。
- ・透水シートはポリプロピレン系織布、980N/5cm とする。
- ・車道部の路床設計CBRは3%とし、4t以下の車両の通行とする。

車道部



歩道部



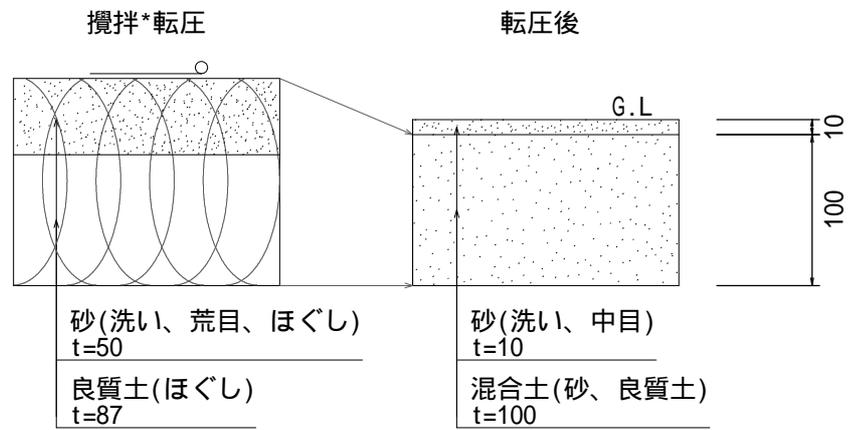
構造物・縮尺

公園コンクリート舗装
(車道部・歩道部)

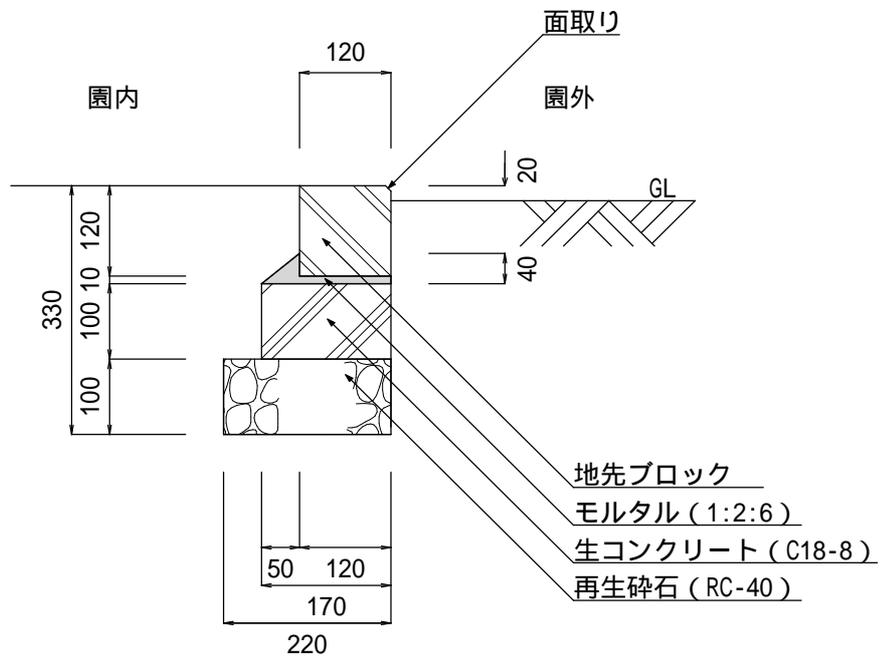
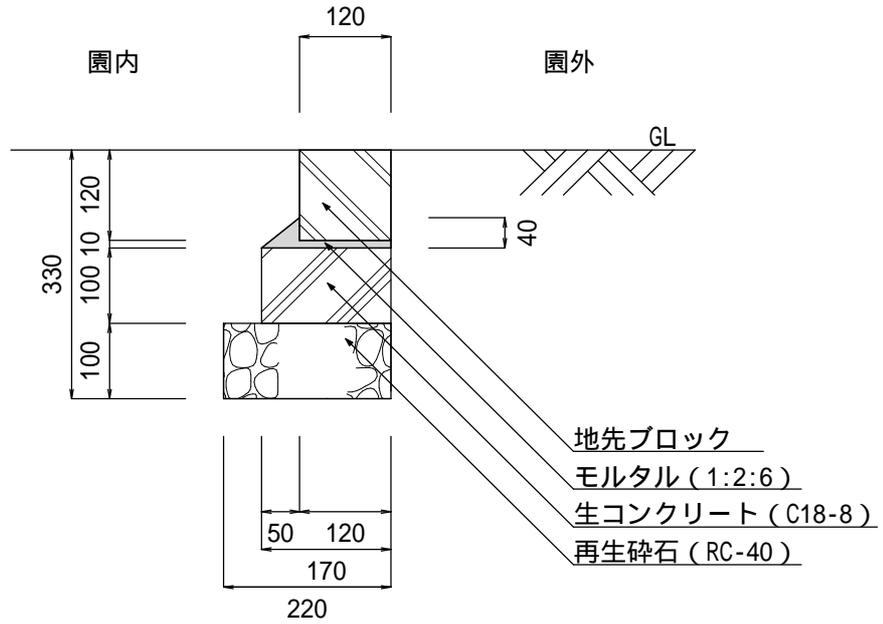
S=1:10

仕様

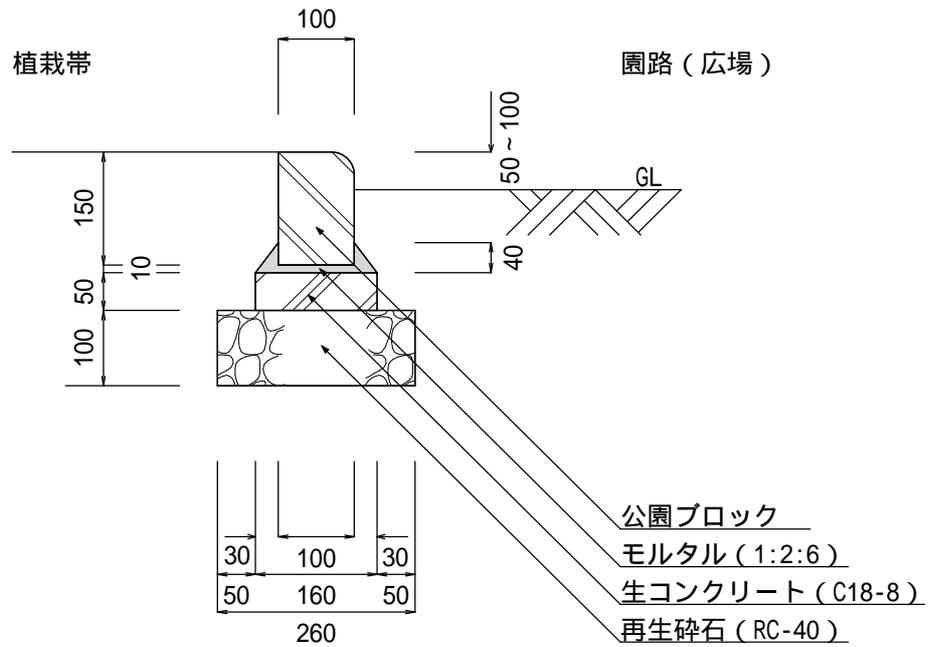
- ・——○はローラー転圧を標準とする。
- ・プライムコートの散布量は $1.26 \frac{\text{kg}}{\text{m}^2}$ とする。
- ・コンクリート表面の仕上げ方法は、特記とする。
- ・目地(縦及び横)については、特記とする。
- ・溶接金網の鉄筋量は 3kg/m^2 以上とする。



構造物・縮尺	砂舗装	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ —○はローラー転圧を標準とする。 ・ 砂と良質土の混合比率(容積比)は2:3を標準とし、均一に攪拌するものとする。攪拌は3回を標準とする。
	S=1:5		

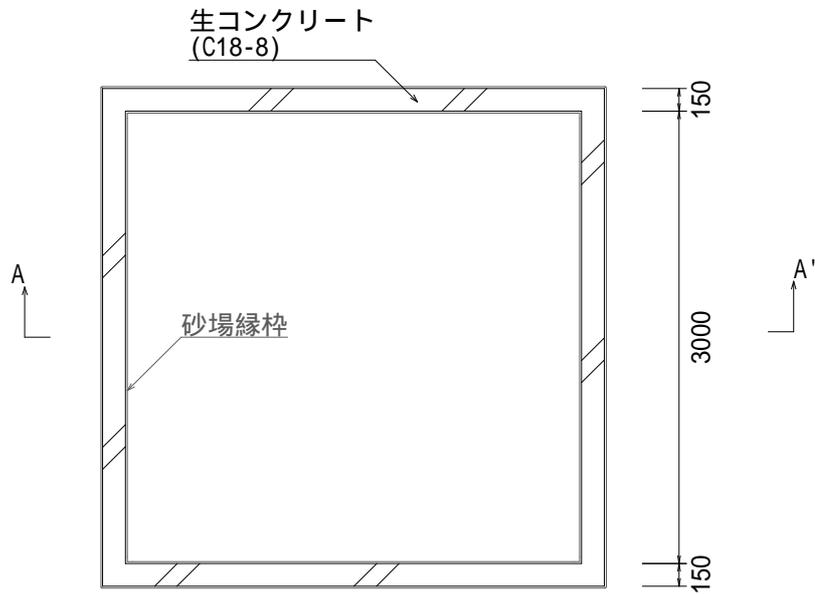


構造物・縮尺	地先ブロック	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート二次製品を切断して使用する場合は、製品長の50%以上確保すること。 ・目地幅は6mmを標準とする。(モルタル 1:2:6)
	S=1:10		

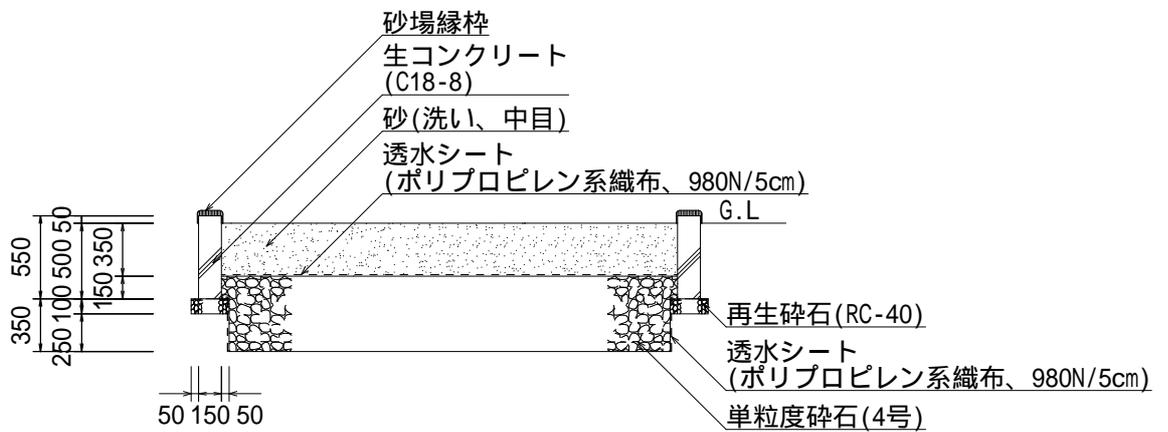


構造物・縮尺	公園ブロック	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート二次製品を切断して使用する場合は、製品長の50%以上確保すること。 ・目地幅は6mmを標準とする。(モルタル 1:2:6) ・植栽帯の地盤高さは特記とする。
	S=1:10		

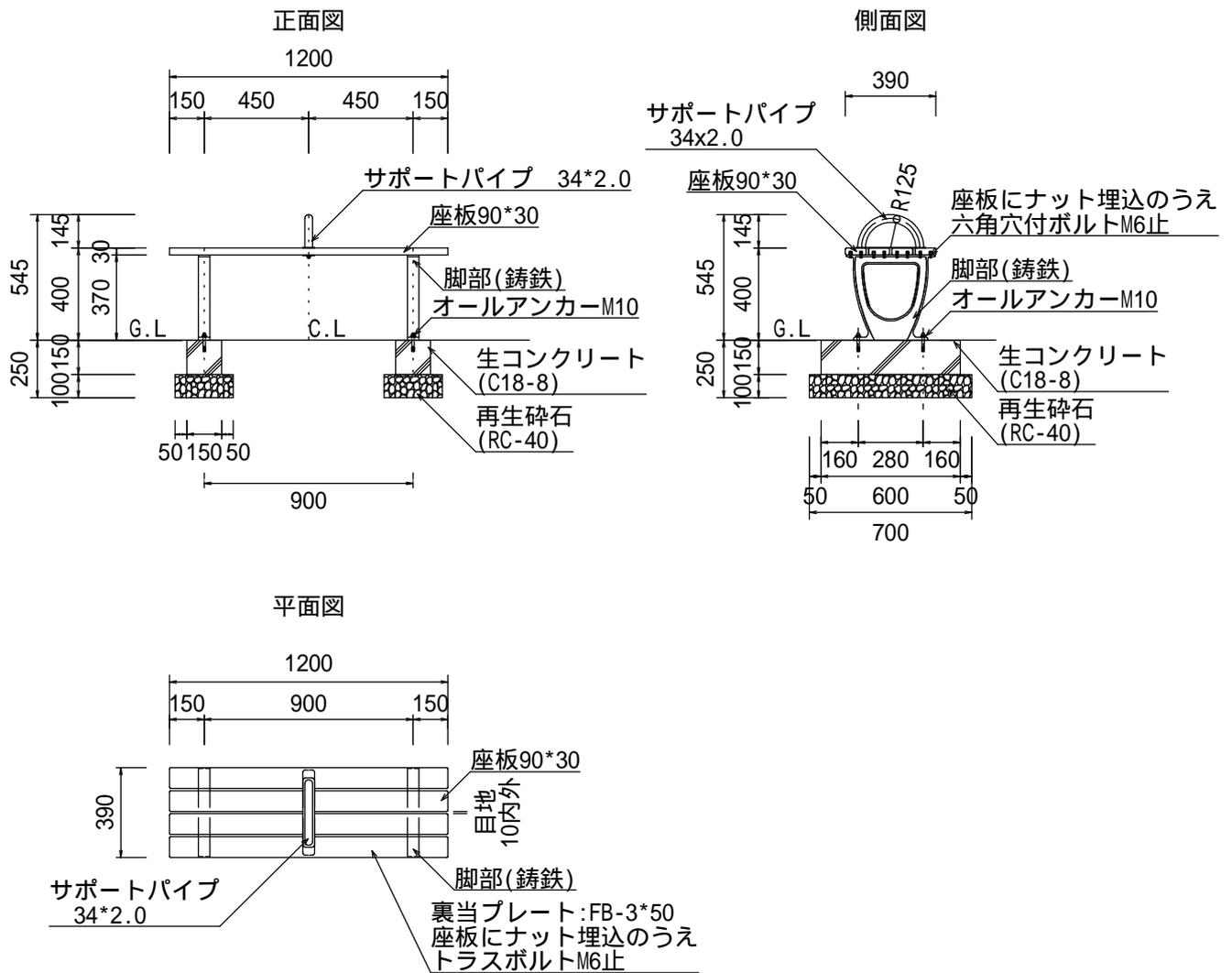
平面図



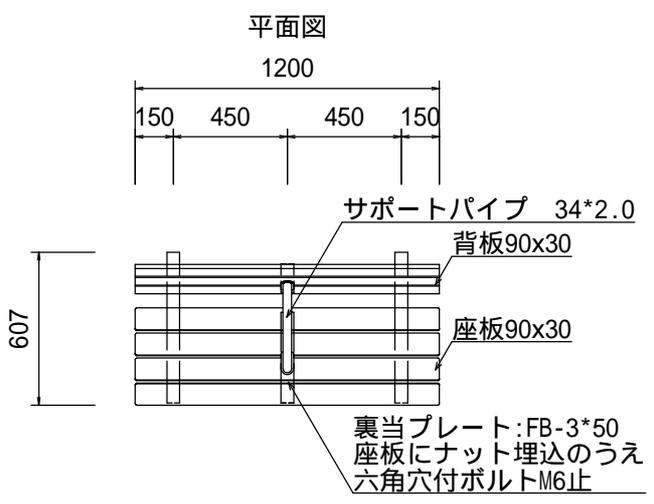
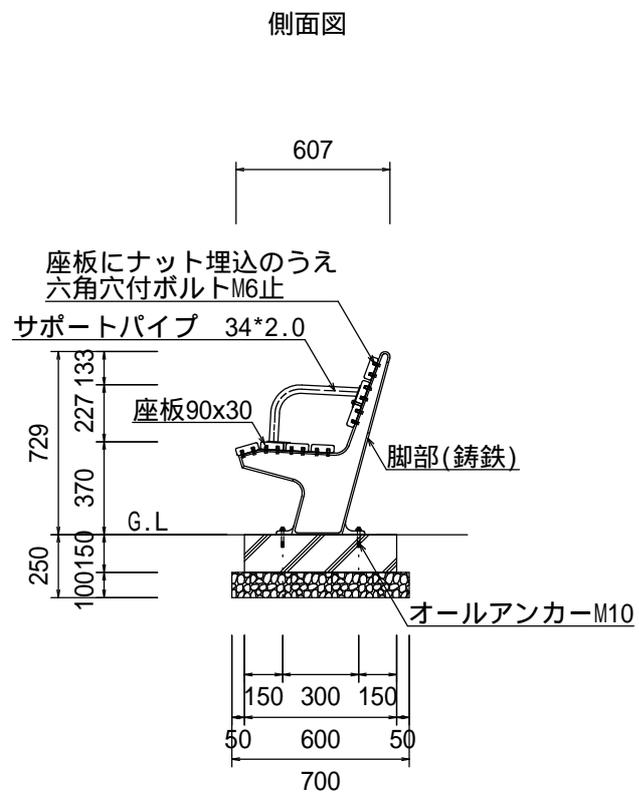
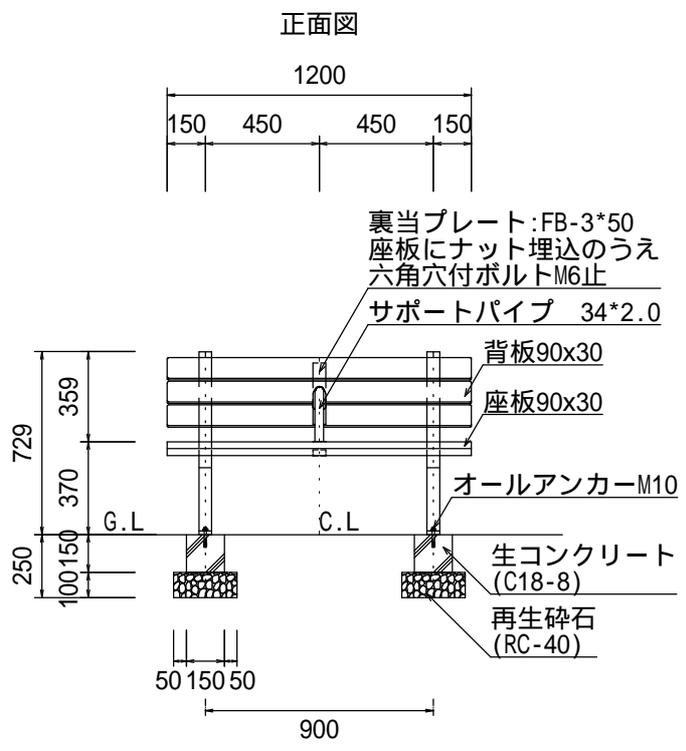
A-A'断面図



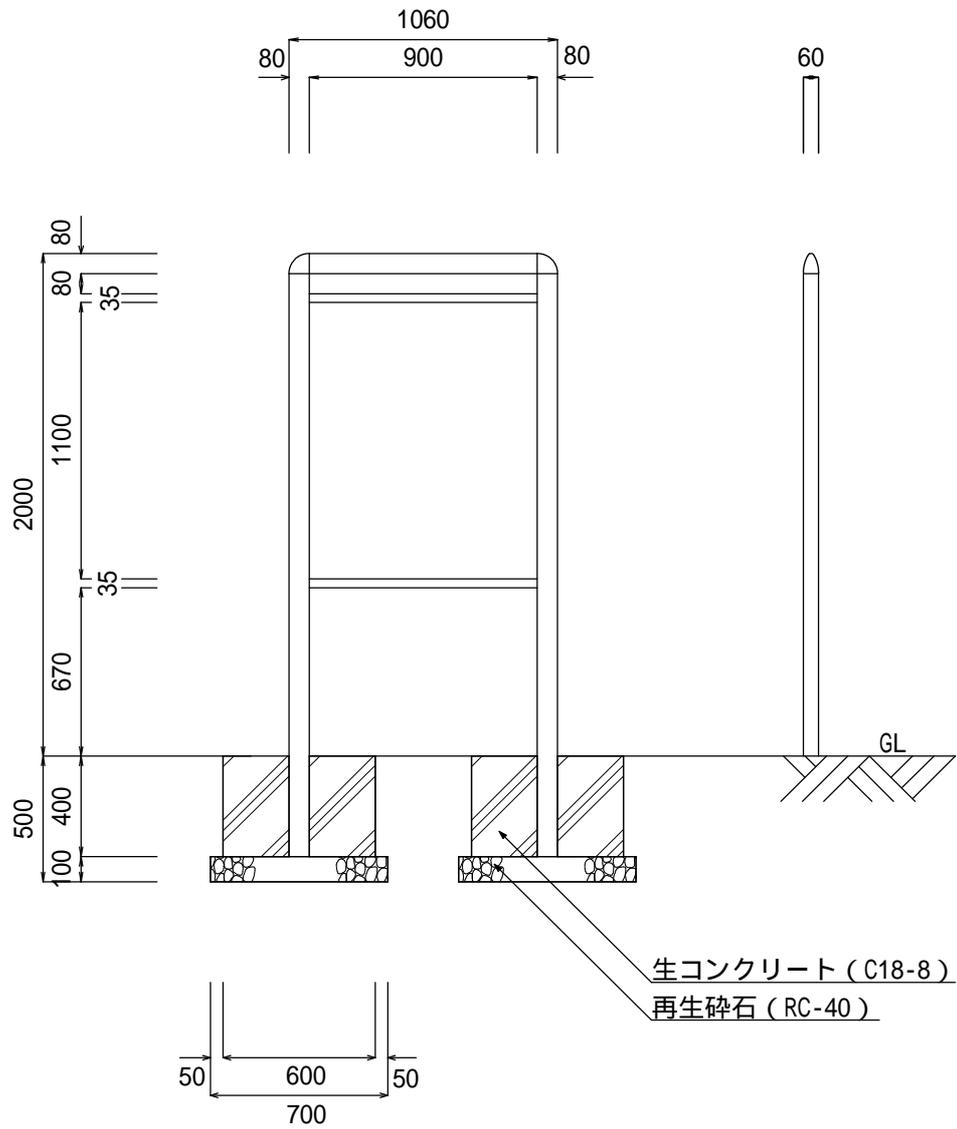
構造物・縮尺	砂場	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・内寸法は3000を標準とするが、公園の大きさを考慮し、市と協議すること。 ・砂(洗い、中目)については、放射性物質(放射性セシウム)濃度10Bq/kg以下(検査結果書の写しを添付)とする。 ・砂場の特性上、山砂は不可とする。 ・砂場縁枠はゴム系とし、接着剤にて確実に固定すること。
	S=1:50		



構造物・縮尺	ベンチ (背なし)	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・材質については、特記とする。 ・基礎構造等の仕様については、メーカー指定に準拠する。 ・(社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険付とする。
	S=1:30		

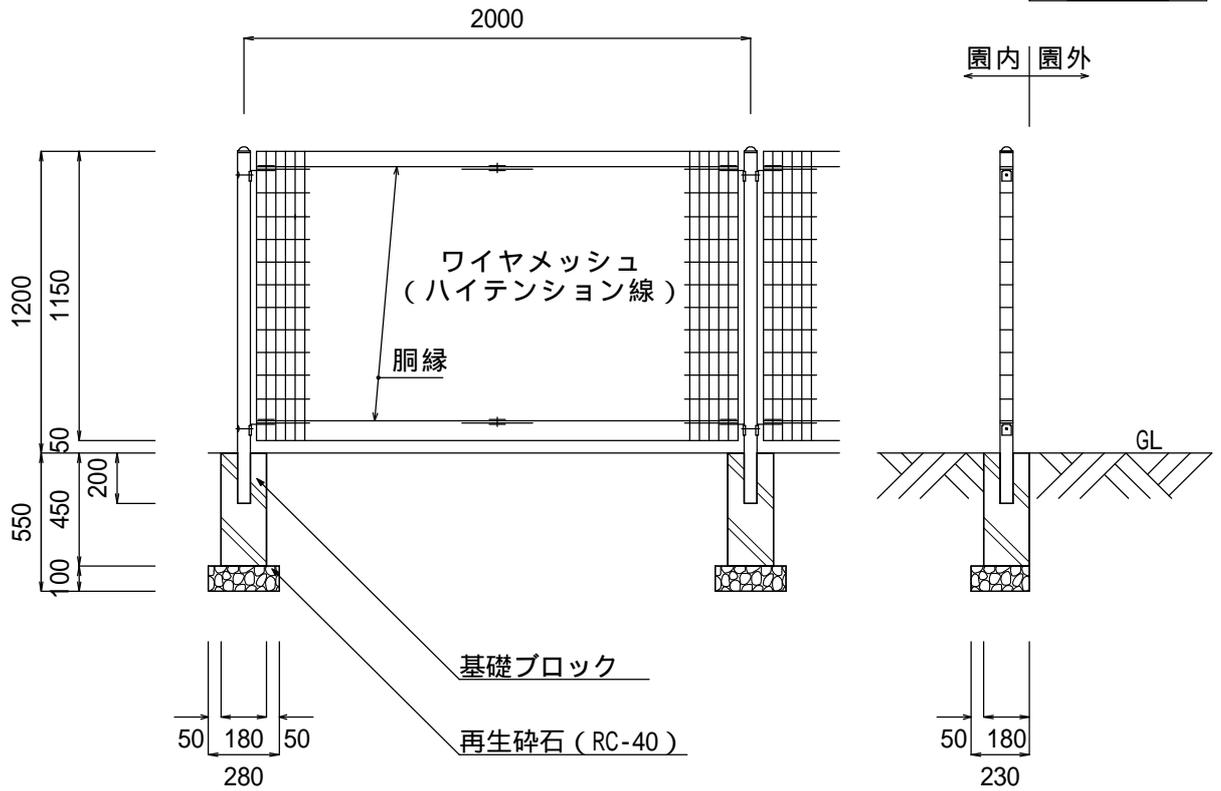


構造物・縮尺	ベンチ (背付き)	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・材質については、特記とする。 ・基礎構造等の仕様については、メーカー指定に準拠する。 ・(社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険付とする。
	S=1:30		

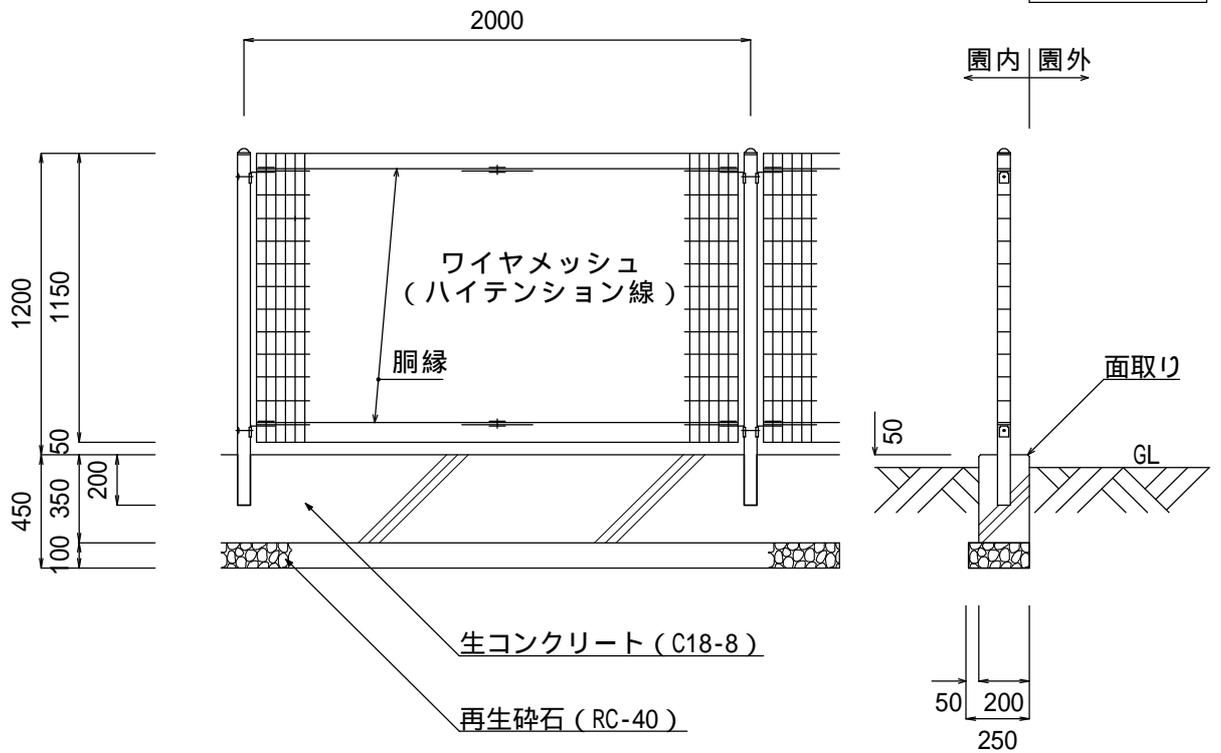


構造物・縮尺	制札板	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・制札板の材質及び文面については、特記とする。 ・文字盤の大きさは 1100×900 を標準とする。 ・基礎構造等の仕様については、メーカー指定に準拠する。
	S=1:30		

単独基礎

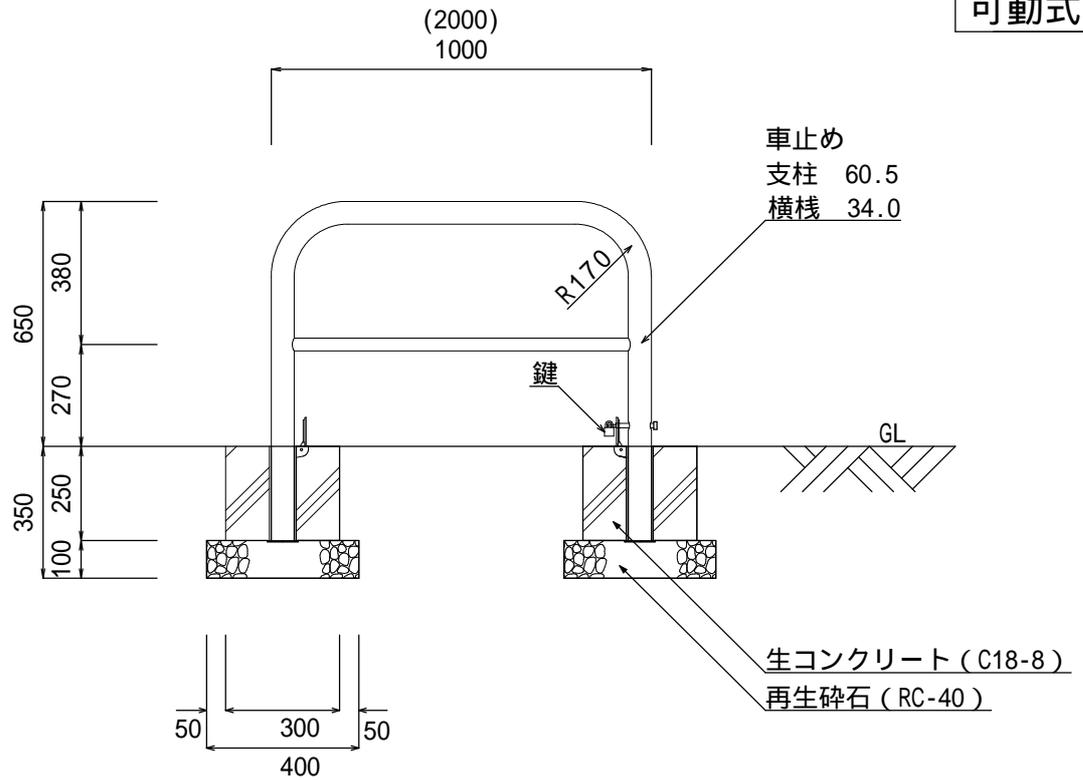


連続基礎

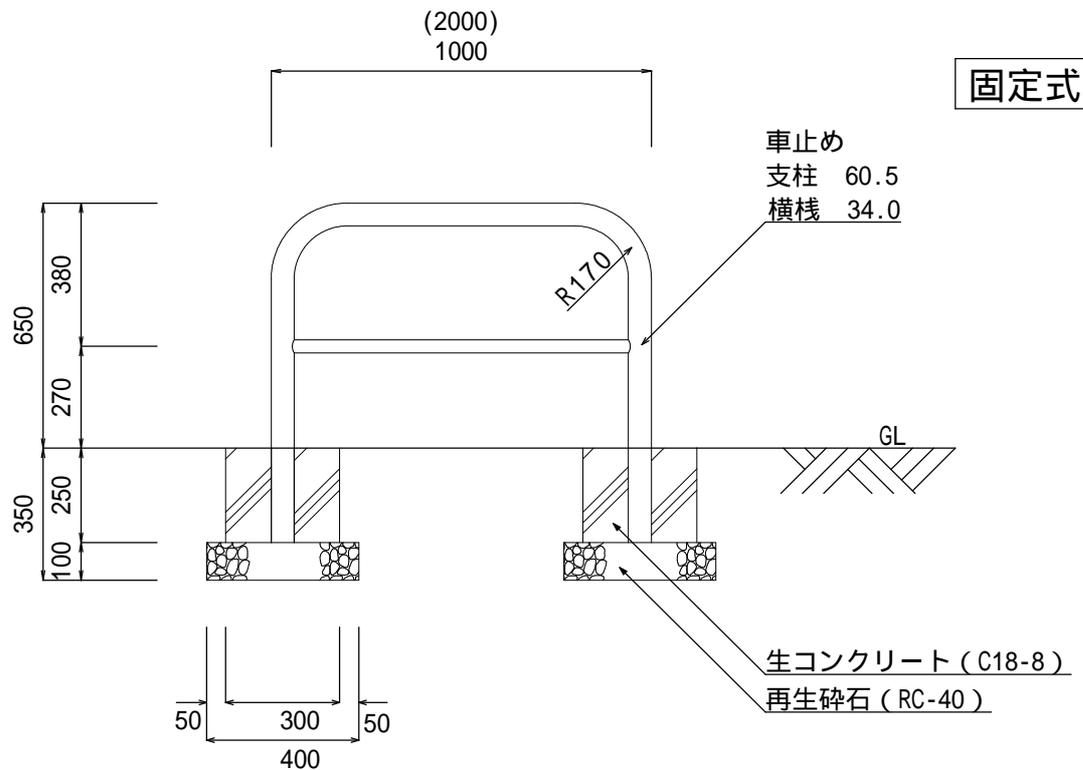


構造物・縮尺	フェンス (単独基礎・連続基礎)	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・フェンス材質及び部材については、特記とする。 ・ワイヤメッシュを切断して使用する場合は、製品長の50%以上確保すること。 ・連続基礎の収縮目地については、10mにつき1箇所設置するものとし、材質については特記とする。 ・基礎構造等の仕様については、メーカー指定に準拠する。
	S=1:30		

可動式

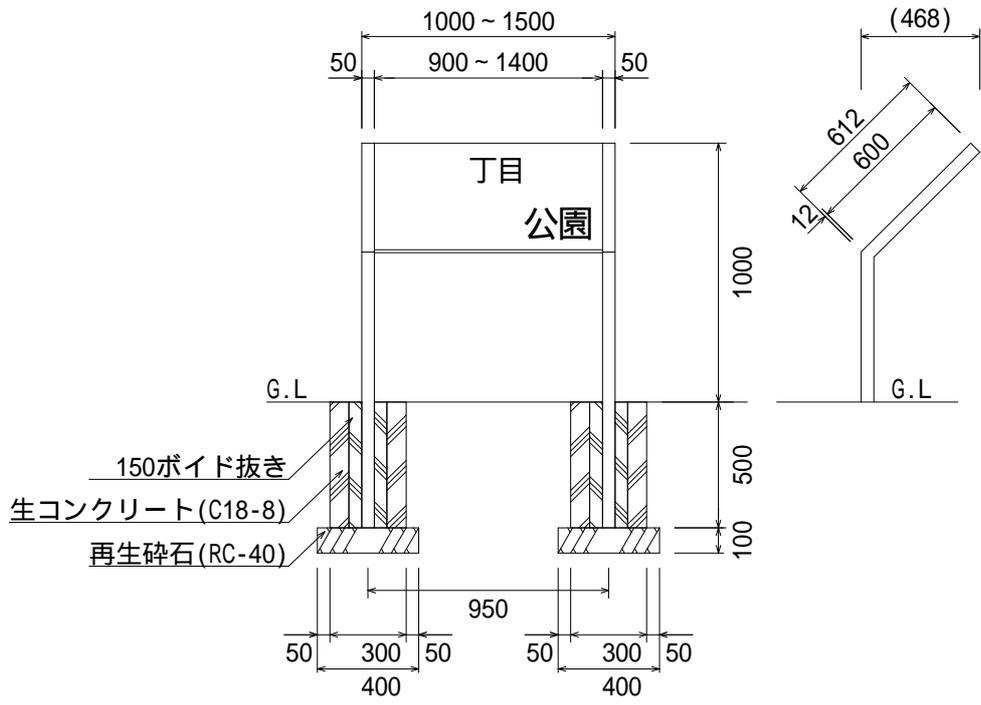


固定式

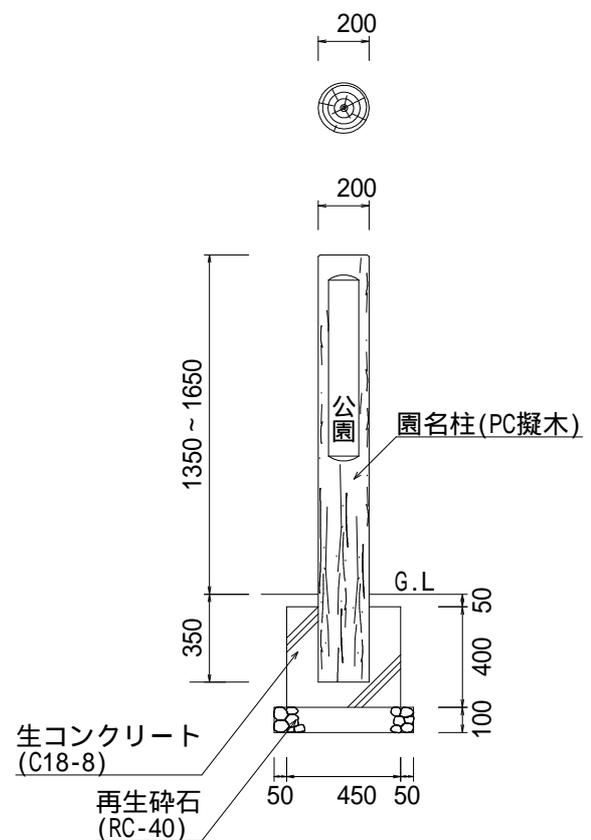


構造物・縮尺	車止め (可動式・固定式)	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・材質及び鍵の種類については、特記とする。 ・基礎構造等の仕様については、メーカー指定に準拠する。
	S=1:20		

園名板

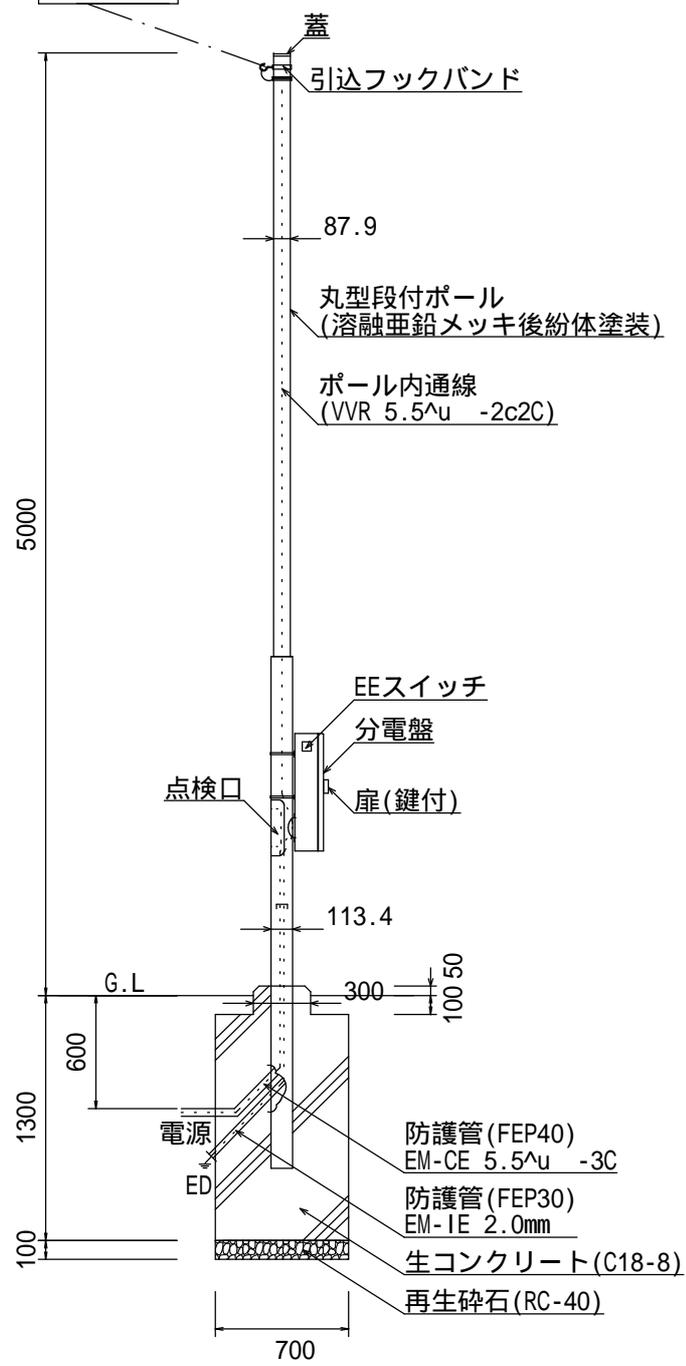


園名柱

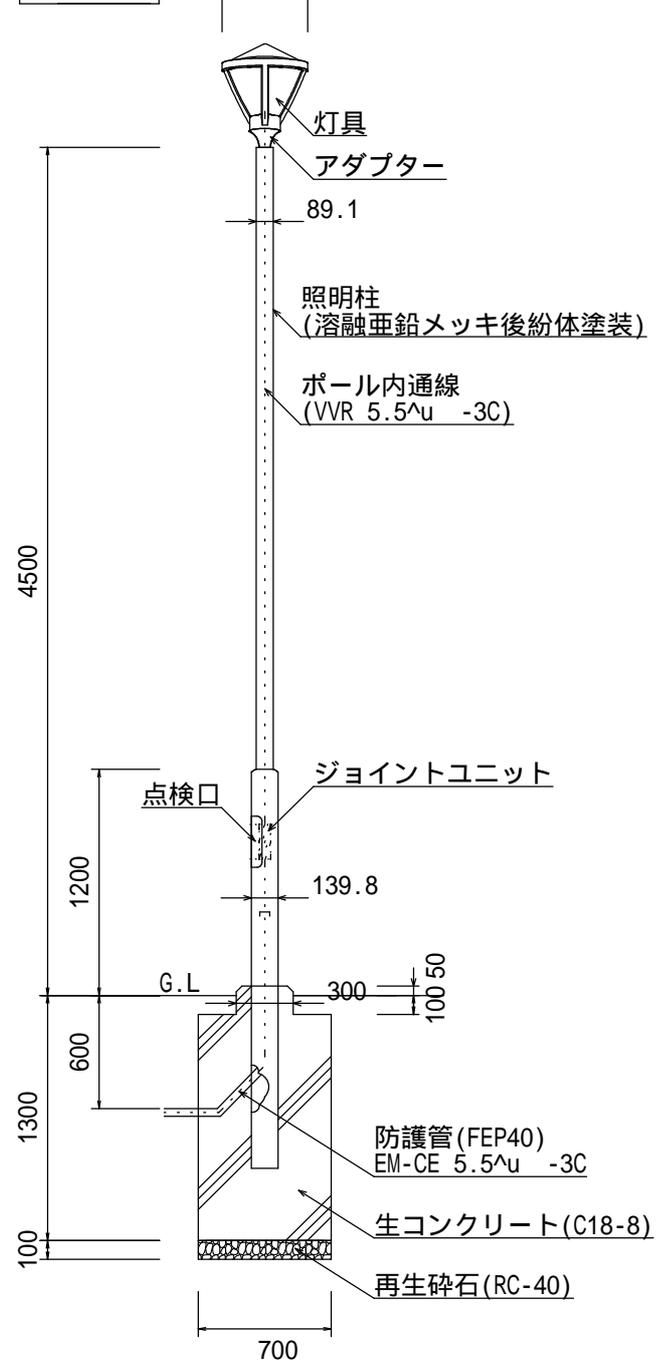


構造物・縮尺	園名板 (園名板・園名柱)	仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・園名板(柱)の記載内容については、特記とする。 ・園名板(柱)の規格については、公園名称により決定する。 ・園名板については、支柱及び枠はステンレス製、盤面はステンレスヘアライン仕上げ(カッティングシート張)とする。 ・基礎構造等の仕様については、メーカー指定に準拠する。
	S=1:30		

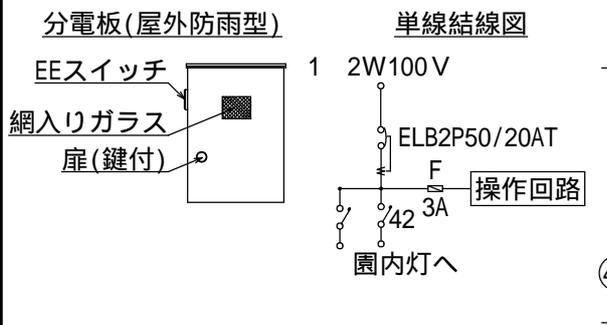
引込柱



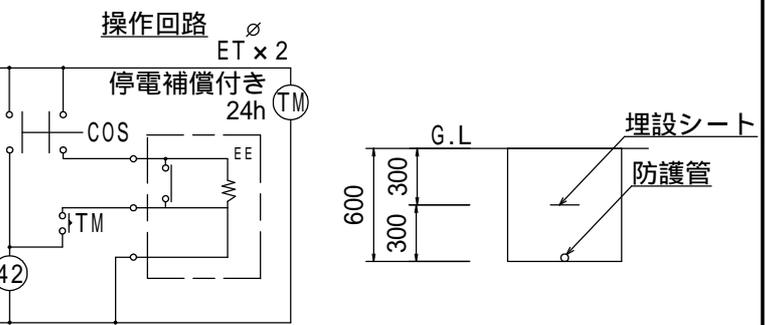
園内灯



分電盤結線図



電線管敷設



構造物・縮尺	園内灯	仕様	<ul style="list-style-type: none"> 園内灯はLED照明とし、照度については協議するものとする。 分電盤は盤内部にコンセント用電源を設けるとし、EEスイッチは直接光の当たらない向きに取付けることとする。 引込柱及び園内灯の基礎型枠は金属製スパイラル管を使用することとする。
	S=1:40		

公園標準構造図

平成11年 9月

平成12年11月改訂

平成21年 4月改訂

平成27年 5月改訂

発行 環境経済局環境共生部公園課